|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発達課題 | ムーブメント | 評　定 |
| （姿勢P－３）  肩を支えてやると脊柱が  腰の近くまで伸びる。 | ○抱っこして前後・左右のゆれ  支援者はあぐら座になり、その上  に子どもを抱っこする。 | 頭から腰までまっすぐに伸びていたら(＋)  その芽生えがあれば（±）  頭が前に落ち、背がまるくなっていれば  （－） |
| （姿勢P-４）  長座位をとらせると手を前につき、一人で座っている | ○トランポリンによる長座位での揺れ  　トランポリンの上で、子どもにあぐら  　座にし、支援者は背後から両脇を  　かかえて座位介助する。 | 長座位の姿勢が３秒以上とれれば（＋）  その芽生えが見られれば（±）  とれなければ（－） |
| （移動Lo－４）  あおむけから腹這いにねられる。 | ○ＦＢでの寝返り  ＦＢの上に子どもをあおむけの姿  勢から、左右に揺らし寝返りを促す。 | ねがえりができれば（＋）  その芽生えが見られれば（±）  できなければ（－） |
| （姿勢ｐ－５）  四つ這い姿勢が３秒以上  とれる。 | ○ロールマットを使用し、お尻をあげて四つ這い  補助して四つ這いをとらせる | 両手・両足を使って、体幹を持ち上げた姿勢が３秒以上  とれれば（＋）その芽生えが見られれば（±） |
| （移動LO-5）  腹や肘を同時につき、上体  を引きずって移動する。  （這い這い） | ○子供を腹這いにして、大人が子供の足首を  　持って、前方に押してやると移動しやすくなる | 両肘を使って上体を引きずるようにして動けば（＋）  その芽生えが見られれば（±） |
| （技巧M-4）  おもちゃをつかみ、口に持っていく。 | ○口や顔のまわりの感覚刺激  大人の手で子供の口の周りを歌いながら、優しく  タッピングしたり、触ったりしてあげて、口のまわり  の触、筋感覚を刺激する。 | 顔の正面や口まで持っていければ（＋）  芽生えが見られれば（±） |
| （技巧M-9）  ２個の積み木を重ねる | ○カラーロープの引っ張っこ  カラーロープの一端を子供が、もう片方を支援者が持ち、綱引きをする。（手指の把握操作）  ○積み木で箱あそび  箱の中にある積み木を出したり、入れたりする  ○積み木崩し積み木を積み上げ、崩して遊ぶ。 | ２個の積み木（５㎝立方）を積ませる  ３回やって２回できれば（＋）  その芽生えが見られれば（±） |
| （技巧M-10）  物を投げる | ○傾斜を使って転がす  傾斜のついた板を使い、ペットボトルやボールを  転がす  ○両手でボールを転がす  ドッチボールほどのボールを使い、両手で転がす  支援者と対面しながらボール遊びをする。 | 投げ方はどうでもよいが、４０㎝～５０㎝投げられれば＋  その芽生え（±）  足下に落とすようなら（－） |

学習プログラム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発達課題 | ムーブメント | 評　定 |
| （技巧M-11）  器の中のボールを取り出す | ○紙をやぶる  新聞紙などをやぶる。支援者の真似をしながら  やぶって見せる（親指、人差し指、中指の操作）  ○入れて遊ぶ  色々な容器の中の者から物と取り出す活動を  する。 | １個づつ取り出せば(＋)  その芽生えがあれば（±）  こぼしたり一度のとったりすれば  （－） |
| (受容言語Ｌ－７)  「ぱぱどこ」「ブーブーどこ」  と聞くとそちらを向く。 | 〇子供が興味を示している物を前に置き、「〇〇  ちょうだい」と言いながら身振りをして、言葉の理解を促す。 | 父親や自動車の方を向いたり、指でさしたりして示せば  (＋)、その芽生えが見られれば（±）、反応なし(－) |
| (受容言語Ｌ－８)  身近なおもちゃを見て、簡単な遊びができる。 | 〇例えば犬のぬいるみを使って、「わんわん」「きゃんきゃん」などと擬態語を使い、ぬいぐるみを  動かす。 | おもちゃに興味を示していれば(＋)、その芽生えが見られれば(±)、反応なし(－) |
| (表出言語Le-４)  バ、カ、が、マ等の単子音を出す。 | 〇子どもが声をだしたら、大人は子どもの声と同じ音で話しかける。徐々に子供の声とちょっと違った、あるいはこれまで、子供が出したことのない  音も出して話しかける。 | 単子音を出ていれば（＋）、その芽生えが見られれば（±）  反応なし（－） |
| （表出言語Ｌｅ－５）  舌をならすことなどを繰り返す。 | ○子供がリラックスして楽しめる、遊びたくなる  風船等を用意し、一種に遊ぶ。自然なムーブメントで喃語や単子音を引き出す。 | 日常生活でぺちゃぺちゃなど舌をならす事あれば（＋）  その芽生え（±）反応なし（－） |
| （社会性Ｓ－４）  鏡の中の自分の像を見て  反応する | ○鏡の前に抱っこして座り、鏡に映る自分の像に  対して、「○〇さん映ってるね」などと話しかけ  関心をもつようにする。 | 鏡の中の自分の像に笑いかけたり、話しかけたり、さわったりすれば（＋）芽生えが見られれば（±）、反応なし（－） |
| （社会性Ｓ－６）  「バイバイ、おつむてんてん  にぎにぎ」の身振り模倣 | 〇ボール、ロープ、フープ、スカーフなどの教具を  活用し、模倣したくなるような工夫と配慮が必要 | 身振り「模倣ができていれば（＋）、その芽生えが見られば  （±）、反応がなければ（－） |
| （社会性Ｓ－８）  褒められるとなんどでも同じ行動をとる。 | 〇大人と一緒におもちゃで遊ぶ。  子どもが楽しく、また得意になって取り組むムーブメント活動を一緒に広げていく。 | ほめられると得意になり、何度もやることがあれば（＋）  その芽生えが見られれば（±）一度限りだったり、うれしがらなければ（－） |